

2019年3月期 第3四半期 決算説明資料



2019年2月8日

株式会社NEW ART HOLDINGS



証券コード:7638

1. 第3四半期 決算概要
2. 業績予想及びその進捗
3. 第3四半期 トピックス及び第4四半期の
取り組み

1. 第3四半期 決算概要

2. 業績予想及びその進捗

3. 第3四半期 トピックス及び第4四半期の 取り組み

1

2019年3月期 第3四半期 連結業績

売上高 12,324百万円 営業利益 1,508百万円

2

ブライダルジュエリー事業が
引き続き好調に推移

3

通期業績予想に対し、好調に推移

売上高 83.3%、営業利益 120.7%の進捗

売上高 12,324百万円 (前年同期比 +17.0%)

営業利益 1,508百万円 (前年同期比 +223.9%)

売上高・営業利益

売上高及び利益ともに、主力の**ブライダルジュエリー事業**が引き続き好調に推移したことにより、前年同期と比べ**大幅に増加**

〔売上高〕 前年同期比 1,792百万円増 17.0%増

〔営業利益〕 前年同期比 1,043百万円増 223.9%増

(3)2019年3月期 第3四半期 業績(連結)

[単位:百万円]

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増減	増減率	トピックス
売上高	10,532	12,324	+1,792	17.0%	[売上高] ブライダルジュエリー 事業が好調に推移
売上原価	4,213	4,679	+465	11.1%	
売上総利益	6,319	7,645	+1,326	21.0%	
販売管理費	5,853	6,136	+283	4.8%	[売上原価率] 40.0% ⇒ 38.0%
広告宣伝費	1,523	1,692	+169	11.1%	
給与手当	1,266	1,302	+35	2.8%	[売上高販管費率] 55.6% ⇒ 49.8%
営業利益	465	1,508	+1,043	223.9%	[特別損失] IT関連(仮想通貨関 連)事業撤退により貸 倒引当金繰入額372 百万円を計上
経常利益	438	1,462	+1,024	233.6%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	40	633	+592	1447.7%	
営業利益率	4.4%	12.2%	+7.8 pt	—	

(4)セグメント別業績①

ブライダルジュエリー事業※ 大幅増収増益

- 国内は引き続き好調
 - ・テレビCMやWEB広告等の集客強化により来店客数が増加
- 海外も、国内同様に順調に推移

全身美容事業※ 増収増益

- 売上拡大、利益率の改善を図るため、顧客層の見直し、商品構成変更、化粧品事業への取り組み、広告宣伝費の見直し等を実施し、黒字化を達成

アート事業 減収減益

- 美術品の販売に加えて、新規事業としてのアートファンドの立ち上げ準備中

その他事業 増収増益

- スポーツ関連事業:ゴルフシャフトブランド「CRAZY」の認知拡大を目指すと同時に、新製品開発を強化
- IT関連(仮想通貨関連)事業: 2018年12月に事業撤退

※セグメントの名称変更
当第3四半期より「ジュエリー事業」及び「エステ事業」のセグメントの名称を、より適切に表現するために、「ブライダルジュエリー事業」及び「全身美容事業」に変更いたしました。

(5)セグメント別業績②

〔単位：百万円〕		2018年年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増減	増減率
ブライダル ジュエリー 事業 ※4	売上高※3	7,174	8,919	+1,745	24.3%
	セグメント利益※1	992	1,852	+859	86.6%
全身美容 事業 ※4	売上高※3	2,106	2,138	+32	1.6%
	セグメント利益※2	△151	88	+239	—
アート 事業	売上高※3	947	906	△41	△4.4%
	セグメント利益※2	23	△55	△78	—
その他 事業	売上高※3	304	359	+55	18.1%
	セグメント利益※2	△158	50	+208	—
調整額	売上高	—	—	—	—
	セグメント利益※1 ※2	△240	△427	△186	—

※1 ブライダルジュエリー事業の2019年3月期第3四半期のセグメント利益は、2018年3月期第3四半期に含んでいた本社管理費用が2017年9月の持株会社化に伴い含まれておりません。同費用は調整額に計上。

※2 セグメント損失は△で記載しています。 ※3 セグメント間の内部売上高及び振替高は含まず。

※4「ジュエリー事業」および「エステ事業」のセグメントの名称を、「ブライダルジュエリー事業」及び「全身美容事業」に変更しています。

(6)貸借対照表(連結)の概要

[単位:百万円]

	2018年3月期	2019年3月期 第3四半期	増減
流動資産	9,735	10,500	+764
固定資産	4,116	4,126	+10
資産合計	13,852	14,627	+775
流動負債	5,962	6,452	+489
固定負債	1,234	983	△251
負債合計	7,197	7,436	+238
純資産	6,654	7,191	+536
負債及び純資産 合計	13,852	14,627	+775

変動要因
◆流動資産
・現預金+364
・受取手形及び売掛金+350
・商品及び製品+122
◆固定資産
・建物及び構築物(純額)+163
・建設仮勘定△114
◆流動負債
・前受金+479
◆固定負債
・長期借入金△354
◆純資産
・親会社株主に帰属する 四半期純利益による 利益剰余金+633
・配当金支払による 利益剰余金△97
自己資本比率 49.2 %

1. 第3四半期 決算概要

2. 業績予想及びその進捗

3. 第3四半期 トピックス及び第4四半期の 取り組み

(1)業績予想及びその進捗

通期連結業績予想に対し**好調**に推移

売上高 **83.3%**、営業利益 **120.7%**の進捗

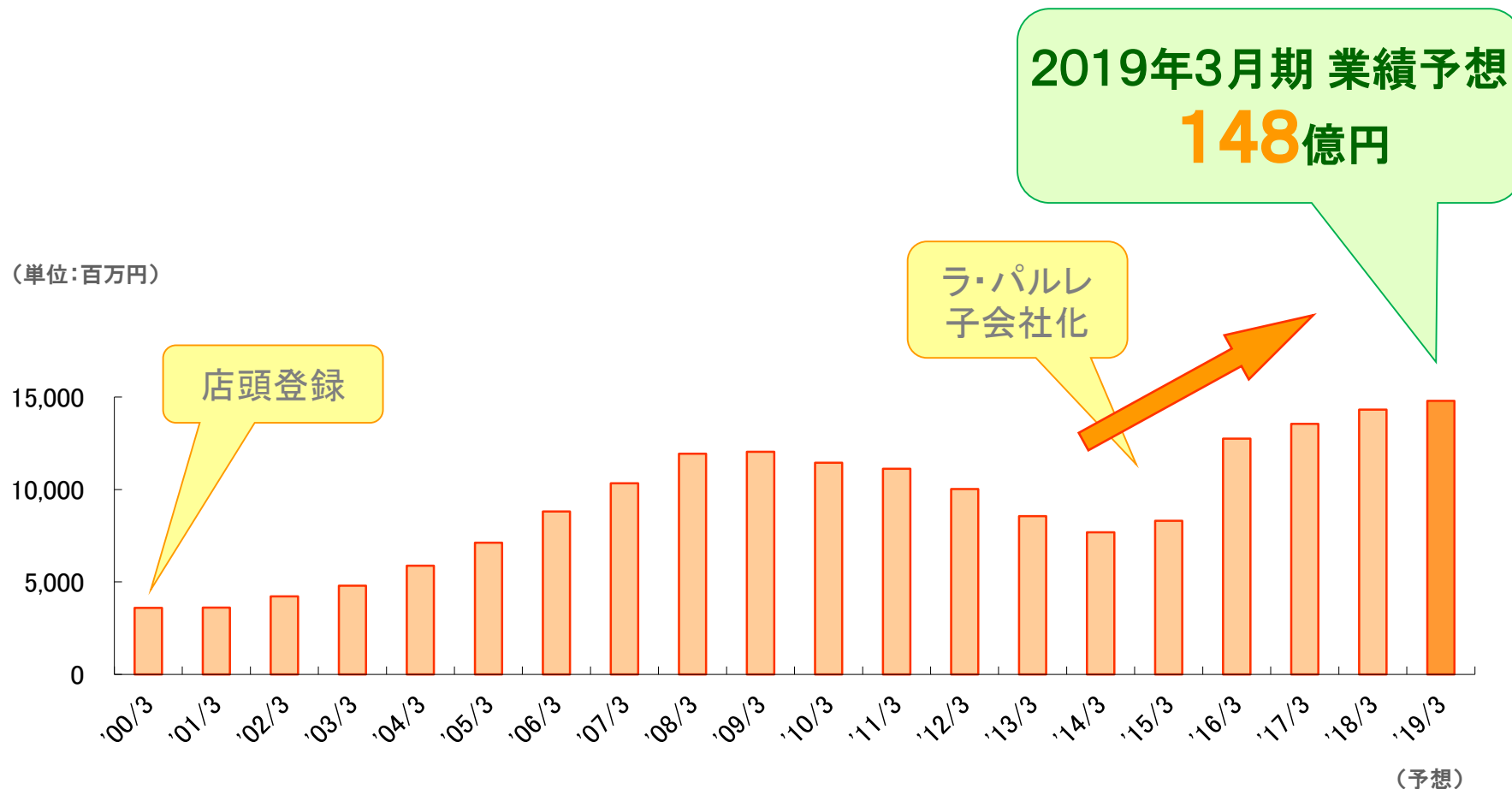
- ・営業利益、経常利益は通期業績予想値を超過
- ・第4四半期も引き続きブライダルジュエリー事業は好調に推移する見込だが、不確定要素もあるため現時点における業績予想の変更はなし
- ・今後、業績予想の変更がある場合は速やかに公表予定

〔単位:百万円〕

	2019年3月期(連結)		
	第3四半期累計 実績	通期 業績予想	進捗率
売上高	12,324	14,800	83.3%
営業利益	1,508	1,250	120.7%
経常利益	1,462	1,210	120.9%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	633	680	93.2%

(3)売上高(連結)の推移

2019年3月期連結売上高は**4期連続過去最高更新**へ



1. 第3四半期 決算概要

2. 業績予想及びその進捗

3. 第3四半期 トピックス及び第4四半期の
取り組み

(1) ブライダルジュエリー事業



国内展開

統合店・新店舗の推進、積極的なマーケティング活動
ブランドイメージの強化

海外展開

積極的な新規出店(デパート)及び集客力・販売力の強化

<新統合店舗>

銀座ダイヤモンドシライシ博多マルイ店
エクセルコ ダイヤモンド博多マルイ店
[オープン日]2018年12月7日

銀座ダイヤモンドシライシ神戸本店
エクセルコ ダイヤモンド神戸店
[オープン日]2019年1月12日

銀座ダイヤモンドシライシ福岡本店
エクセルコ ダイヤモンド福岡店
[オープン日]2019年1月26日

<新店舗>

銀座ダイヤモンドシライシ
ららぽーと湘南平塚店
[オープン日]2018年11月30日

<海外新店舗>

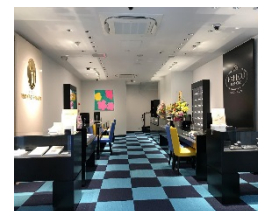
銀座ダイヤモンドシライシ
新光三越台南西門店
[オープン予定]2019年3月中旬



▲ 博多マルイ店
《統合店舗》



▲ 福岡本店
《統合店舗》



▲ 神戸本店
《統合店舗》



▲ ららぽーと
湘南平塚店
《単独店舗》

全身美容事業

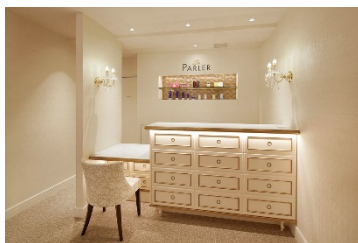


中期的な売上拡大・利益率改善を
図るため、引き続き構造改革を推進

- 顧客層の見直し
- 商品構成の変更
- 化粧品事業への取り組み
- 広告宣伝費の見直し



黒字化



アート事業

アート×金融
アートファンドの立ち上げ
計画



早期実現を
目指す

NEW
ART
LAB

Appendices

ブランドイメージの強化に向けた「銀座ダイヤモンドシライシ」
新CMを全国にて公開中

映画監督 **行定 勲**が描く男性視点のプロポーズ
俳優 **三浦 貴大** × 女優 **土村 芳**

この輝きと、生きていく。

行定勲監督が描く、ブランドムービー公開



▲ 新CM「彼は走っている」編

中期経営計画

(2019年3月期～2021年3月期)

(1)中期経営計画 数値目標

2021年3月期 売上高165億円、営業利益16.5億円を目指す

<連結数値目標>

[単位:百万円]

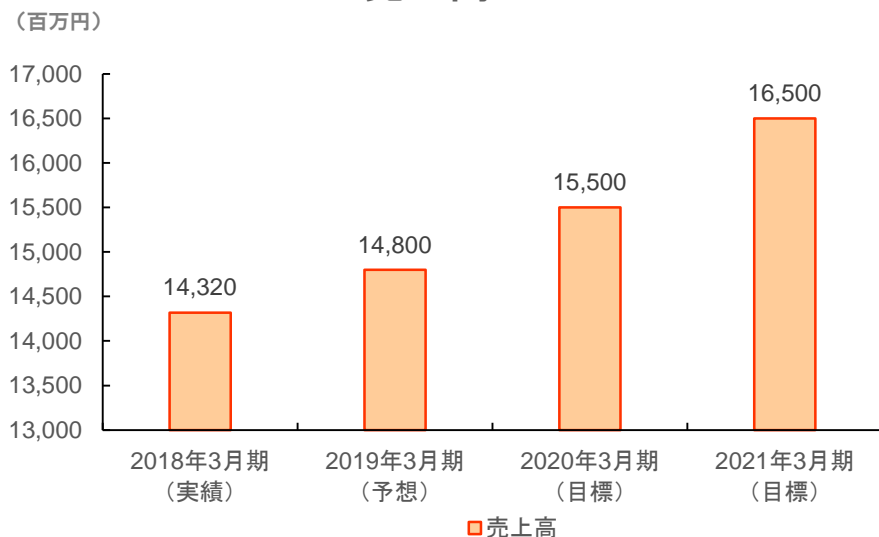
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
	(実績)	(予想)	(目標)	(目標)
売上高	14,320	14,800	15,500	16,500
営業利益	814	1,250	1,450	1,650
経常利益	725	1,210	1,400	1,600
親会社株主に帰属する当期純利益	94	680	850	1,000

(2) 中期経営計画 概要

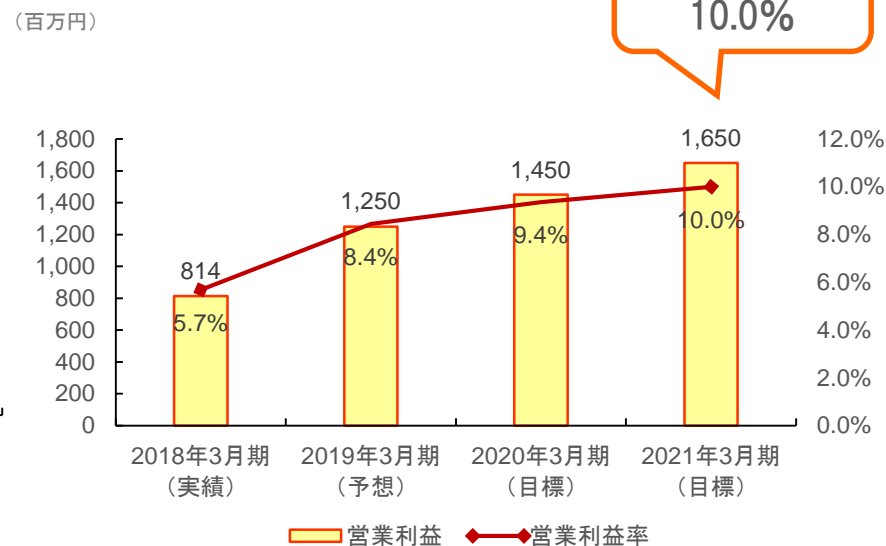
営業利益は2018年3月期をボトムにV字成長16.5億円、
営業利益率10%を目指す

- ▶ 国内既存事業の更なる拡大
- ▶ 海外展開の推進
- ▶ 新規事業の育成
- ▶ 利益を生み出す筋肉質な組織構築を図る

売上高



営業利益



株主還元

[基本方針]

- ・将来の事業規模拡大に不可欠な成長投資を優先し、株主利益及び企業価値の最大化に努める
- ・株主還元については、企業価値向上による株価上昇と剰余金の配当等によって総合的に実現し、中長期的に総還元性向30%を目指す

期末配当金

2018年3月期

30銭

2019年3月期

30銭（予想）



IR情報に関するお問い合わせ

株式会社 NEW ART HOLDINGS 経営企画部

Tel. 03-3567-8098 Fax. 03-3567-8092

(注)本資料における業績予想や将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報にもとづき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。したがって、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。